

カリキュラム

コースコード：21-111

中小企業大学校 直方校

タイトル	不良品ゼロ化をめざす品質管理講座				
サブタイトル	不良品ゼロ化を実現させる品質管理と改善の進め方				
研修のねらい	取引先の求める品質レベルの高度化に対応するためには、出荷検査だけでなく全社的な品質管理の体制構築が必要となります。そのため、顧客からの信頼を高め、品質不良による損失をなくすために、管理者には品質不良の原因究明や予防対策の実践が求められています。 本研修では、品質を製造工程で作り込むQC的な考え方を理解した上で、QC7つ道具の使い方や不良対策の進め方について演習を通じて学びます。また、研修のまとめとして自社の品質管理の改善検討に取り組みます。				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 品質管理を体系的に学べます。 QC7つ道具の現場での使い方が身につきます。 不良を出さない現場の体制づくりを学べます。 				
日程	2021年6月1日（火）～6月3日（木）	日数	3日	時間数	21時間
対象者	管理者、新任管理者 ・小集団改善活動のリーダーの方 ・QC7つ道具の使い方を学びたい方 ・自社の不良ゼロ化に取り組みたい方	定員	30名	受講料	32,000円
		会場	中小企業大学校直方校		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
6/1 (火)	9:10~9:30	開講式・オリエンテーション		合同会社 F R S コンサルティング 代表社員 古澤 智
	9:30~12:30	品質管理の考え方	品質管理の重要性を理解した上で、品質管理に取り組む際の重要ポイントを学びます。さらに、標準化に取り組む際の盛り込むべき要素や留意点について、作業標準の事例を交えて学びます。	
	13:30~16:30		<ul style="list-style-type: none"> 品質管理部門の役割 事実に基づく考え方/PDCAを回す考え方 品質管理の基本手法 標準化の目的と進め方 作業標準書の書き方 標準化による問題の可視化と改善へのつなげ方 	
	16:30~17:30			
6/2 (水)	9:00~12:30	QC7つ道具のつくり方・使い方 (演習)	QC7つ道具（特性要因図、パレート図、ヒストグラム、管理図、散布図、グラフ、チェックシート）の作成・使用方法を、演習を交えて学びます。	
	13:30~17:30		<ul style="list-style-type: none"> QC7つ道具の目的と見方・つくり方 QC7つ道具と新QC7つ道具 	
6/3 (木)	9:00~11:00	品質改善活動の進め方	品質改善を進めるためのステップとして、QCストーリーの重要ポイントを学びます。	
	11:00~12:30	QC7つ道具を活用した自社課題の検討（演習）	<ul style="list-style-type: none"> 品質の問題と課題の捉え方 QCストーリーによる改善活動の進め方 	
	13:30~16:30		目標設定、行動計画、効果検証方法など、自社の品質レベルをアップさせるため、QC7つ道具を活用しながら品質改善に向けた取り組みを検討します。	
	16:30~16:40	終講式	<ul style="list-style-type: none"> 自社の品質管理を考える 	

講師紹介

氏名	略歴
古澤 智 (ふるさわ さとし) 合同会社 F R S コンサルティング 代表社員	山形県出身。大学卒業後、総合電機メーカーで製品設計に従事。その後、中小企業支援センターにて様々な中小企業の支援に従事したのちコンサルタントとして独立。技術経営、現場改善を得意とする。

備考

※全日とも、12:30~13:30は休憩時間となります。
※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。